

# MAHATHIR MOHAMAD

Former Prime Minister of Malaysia (1981-2003; 2018-20)

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU



## Topics

- Asia
- Economics
- Government
- Politics
- Transformation

マハティール・モハマドは、マレーシアの7番目の首相であるマレーシアの政治家です。彼はまた、1981年から2003年まで首相を務めていました。70年以上のキャリアを持つ彼は、マレーシアで最も尊敬されている政治家の1人です。首相としての前任期中に、彼は企業が繁栄するのを助け、国の人々が教育を容易に利用できるようにする政策を策定しました。彼は、マレーシアを産業大国として国際的に認めるペースの速い近代化の推進を通じて国を主導しました。

彼のリーダーシップの下で、いくつかのメガインフラストラクチャプロジェクト、特にクアラルンプールシティセンタ<sup>TM</sup> KLCC<sup>TM</sup> ペトロナスツインタワー、クアラルンプール国際空港<sup>TM</sup> KLIA<sup>TM</sup> が行われました。Tun Dr Mahathirは、マレーシアを外国投資に開放し、国際貿易障壁を減らし、政府サービスを民営化し、世界クラスの物理的インフラストラクチャを確立しました。マハティール首相在任中、マレーシアは東南アジアで最も繁栄しダイナミックな経済の1つとなり、産業が繁栄し、中産階級が成長し、生活の質が向上しました。マレーシアはまた、国際舞台でより積極的な役割を果たし、アジアとアフリカの発展途上国の声としての役割を果たしました。マハティール・モハマド博士は、2020年までにマレーシアを先進国にするための枠組みであるビジョン2020でも記憶されています。彼の功績により、彼はマレーシアの「近代化の父」と見なされています。

2016年、マハティール・モハマド博士は国民戦線に挑戦するために新しい政党を設立しました。2018年、93歳で見事な政治的復活を遂げ、彼が率いた連合が総選挙に勝利し、彼はマレーシアの第7代首相に選出されました。